



団体名	マームのキッチンガーデン		
団体の所在地	伊丹市	代表者名	八尾 恵美子

1. 事業名	環境学習会“Let’s try!! 環境にやさしい土づくり”		
2. 実施期間	平成21年4月～平成22年3月		
3. 主な実施場所	子ども自然農園及びハーブテラスアップルミントのフィールド		
4. 活動形態	実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ol style="list-style-type: none"> 4～5月の活動(大人18名、子供28名) 伊丹市昆虫館より講師を招き、「畑の自然見学会」を実施。農薬や化学肥料を使わずに農作物を育てるには、畑に生きる植物や生物の力を借りる必要がある事、自然との共存、人との関わりの大切さを学ぶ。 6～8月の活動(大人13名、子供15名) 講師を招き木製コンポストを子ども達と手作りし、枯れたハーブや雑草を使い春に捕獲したミズを投入してコンポストによる堆肥作りを開始した。 10月の活動(大人5名、子供5名) 木製コンポストは雨風や日照による劣化により破損が懸念されていたので、伊丹市昆虫館のサポートでミツロウワックスを作り、木箱に塗り、補強した。 11月の活動(大人16名、子供18名) 伊丹市昆虫館出前講座により、自然観察会、ミツロウ学習会を開催。 12月の活動(大人8名、子供12名) 講師を招き、落葉で作る堆肥、土作りの指導を受ける。 3月の活動(大人7名、子供8名) 自家製堆肥を入れた畑で、ジャガイモを植える。 		
6. 成果・反響・ 反省点等	<ol style="list-style-type: none"> 成果 <ul style="list-style-type: none"> 落ち葉や庭の枯れた草花、雑草をバイオマスとして見直すことで、堆肥として再生することができた。 バイオマスを利用することで、ゴミの軽量化と地域の環境保全について参加者や近隣中学校の生徒にも理解を深めてもらうことができた。 数回の自然環境学習会にて、植物と昆虫との繋がり、昆虫と土との繋がり、そして自然界と人との繋がりを学び、地球温暖化防止と環境保全に対する意識を向上することができた。 反響 <ul style="list-style-type: none"> 荒牧中学校の教頭先生より、生徒と共同で堆肥作りをすることで、地域環境保全に貢献し、環境問題としての教育に役立つとの感謝の意を頂戴した。 反省点 <ul style="list-style-type: none"> 環境保全に対する意識は、継続することでより深まるとの事を今年度の活動を通して感じたので、来年度への活動の継続と、地域への活動の普及を図りたいと思う。 		
7. 成果物	<ol style="list-style-type: none"> 自家製堆肥 無農薬野菜 木製コンポスト 		
8. 活動写真・説明	 <p>伊丹市昆虫館出前講座「自然観察会」</p>  <p>集めた落ち葉で堆肥作り</p>		